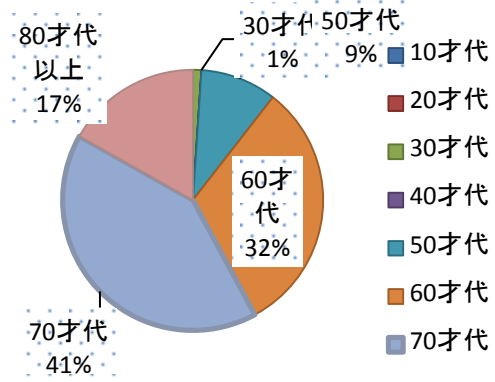


フォーラム みんなで創ろう ささえあえる街 きよせ アンケート集計

参加者数:131名 グループワーク参加者数:96名

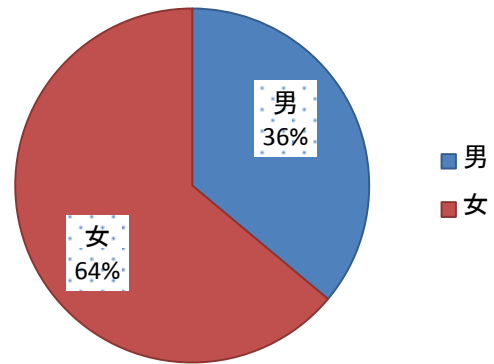
1 年齢

10才代	0人
20才代	0人
30才代	1人
40才代	0人
50才代	9人
60才代	30人
70才代	39人
80才代以上	16人
合計	95人



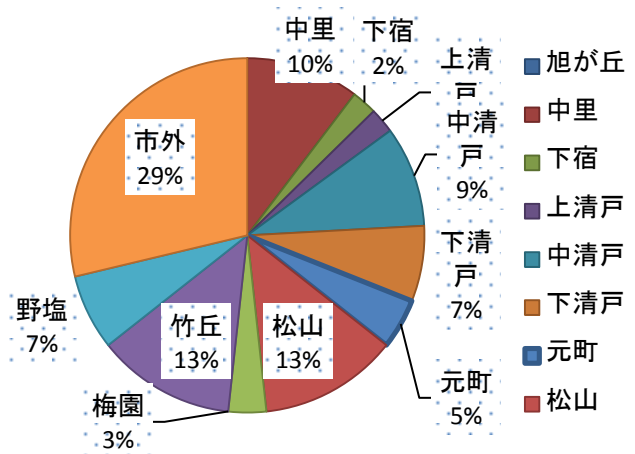
2 性別

男	35人
女	62人
合計	97人



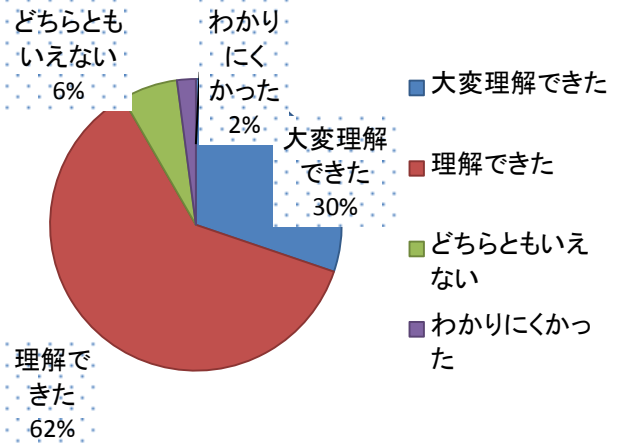
3 お住まいの地域

旭が丘	0人
中里	9人
下宿	2人
上清戸	2人
中清戸	8人
下清戸	6人
元町	4人
松山	11人
梅園	3人
竹丘	11人
野塩	6人
市外	25人
合計	87人



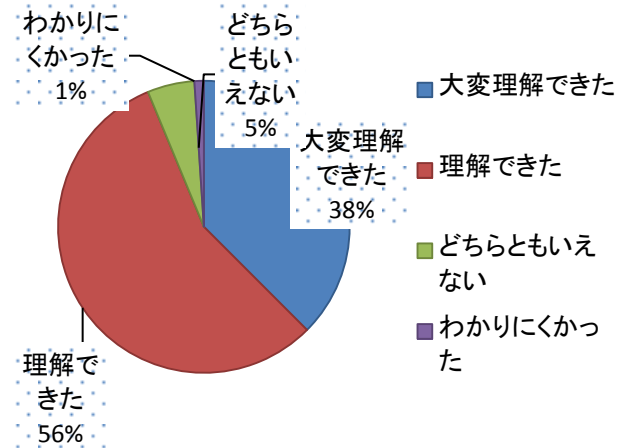
4 本日の基調説明について

大変理解できた	29人
理解できた	59人
どちらともいえない	6人
わかりにくかった	2人
合計	96人



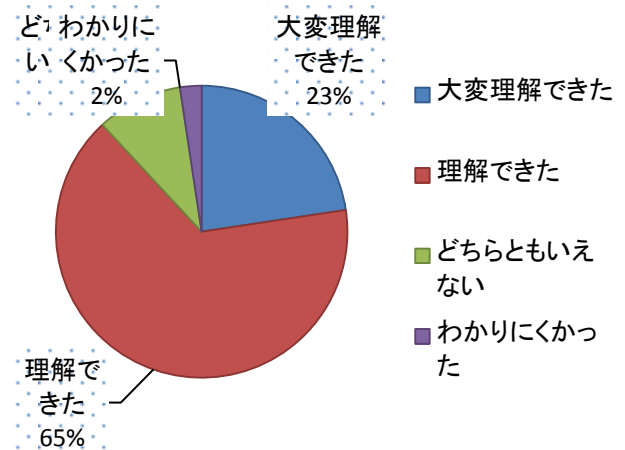
5 本日の基調講演について

大変理解できた	36人
理解できた	54人
どちらともいえない	5人
わかりにくかった	1人
合計	96人



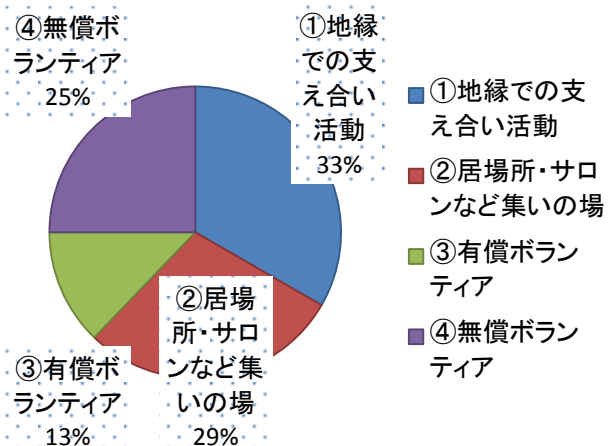
6 グループワークについて

大変理解できた	19人
理解できた	55人
どちらともいえない	8人
わかりにくかった	2人
合計	84人



7 参加してみたい、またはとりこんでみたいという支え合い活動はありますか？

①地縁での支え合い活動	52人
②居場所・サロンなど集いの場	45人
③有償ボランティア	20人
④無償ボランティア	39人
合計	156人



- ・ 地区別にこのようなフォーラム、特にワークショップを行っていくことが大事だと思います。地域の特性や課題が違っていて、抱え込んでいる問題意識も違うと思いますし、同じ地域に住んでいる住民同士の方が問題意識や情報共有をより深くつかんでいくことができると思います。
- ・ 本の読み聞かせなど出来れば。
- ・ 内容の理解不足であり、勉強して納得した上参加し、ボランティア等をしてみたいです。
- ・ この運動の趣旨は大変良いと思いますが、自治会会員自体あまり交流がなく、私としては不安があります。私自身は清瀬市福祉課のボランティアとして手芸クラブに入り何かと作成しています。
- ・ 支援を受ける側としてはお願いしたい時に受け皿があれば安心できる。高齢者でも自立してがんばっている人がいることを知ってほしい。
- ・ 参考になりました。住人に頼りすぎず、政府のお金の使い方がずさんだと国民につけ回している。しかし、住民はやるべきことが必要。
- ・ ワークショップの時間が非常に短かったのが不満です。
- ・ 助け合い活動を創出するには日ごろからボランティアをやっている人の意見等、人の意見を大切に。ワークショップもいろいろな考えがあり自分もできるようにしたいと思います。
- ・ 八王子より参加。清瀬市の熱意を感じた。八王子でもぜひ開催したい。
- ・ サロンはたくさんボランティアを取り込んで運営していくのがベストだと思います。
- ・ 高齢者と子育て家庭を結ぶ居場所・サロンづくり
- ・ いくつかボランティア活動はしていますが、様々な組織や場所で行われており横の連携がない。今回の支え合うきよせ委員会で市全体の組織づくりをしてほしい。
- ・ 進行をもっとスムーズに。情報をきちんと伝えてほしい。市の方から活動に参加したい方に情報を伝えてほしい。
- ・ 市外から参加したが参考になった。今後、差支えない情報があったらメールしてほしい
- ・ 介護予防としてまち歩きに関心があります。案内役して参加できます。
- ・ 今日集まった方はすでに活動されている方や関心のある方。それ以外の方に問題提起が重要だと思う。
- ・ 勉強になった。何か私にお手伝いできればと思います。このお話を聞かなければさわやか福祉財団を知らなかった。
- ・ 他市の団塊交流会に参加しているが他市のような地域でコミュニケーションのとれる団体を作っていきたい。誰でも参加のできる行政と連絡の取れる音楽集団等。
- ・ 保護司がおります。支え合い活動に参加しながら安全安心な街づくりに協力していきたい。子供の力を借りる。それにより子供たちも社会のルールを学ぶことになる。高齢者の話し相手。ちょっと会うだけで元気になると思う。
- ・ 現在、清瀬で活動しているNPO法人に参加してみたい。自分の住んでいる市の状況を確認したいと思う。堀田先生の講演はわかりやすく良かった。
- ・ 悠々とボランティア活動中。
- ・ 他地域の取り組み事例等、知ればもっと良いと思う。
- ・ 市民参加のフォーラムうらやましい。市民力をじかに感じられました、力を頂きました。
- ・ 男女参画センターの登録団体として活動しています。
- ・ 無料で皆が集ってお茶のみながら話し合えればと。
- ・ 声をだし、はなしおしゃべるすることも大事だと思う。
- ・ 良いテーマでGWできた。共通の課題を持てたことが収穫。
- ・ 東村山の取り組みについては知識不足なので勉強して参加していきたい。市外ですが、良ければ勉強会に参加したい。
- ・ 子育てするなかで近所同士の助け合いネットワークは作ってきた。どこまではいいのか、忙しくて依頼を受けられず、断ったらそれ以来頼まれなくなったなど、難しさを経験した。コーディネーターがきめ細かに助け合いの仕組みを行政のバックアップのもと作っていくことが必要。
- ・ 地元で参加します。福祉センターのボランティアとして参加したので大田区役所に行ってみます。
- ・ 市外からの参加のため、自分の地域で参加したいと思う。
- ・ 所沢市から参加。居住地で参加します。
- ・ 市に意見等を伝えても何も返事がないのが残念。市民からの意見や情報には何かしらの返事をしてほしい。
- ・ 支え合うきよせ委員会を知りました。
- ・ グループワークで他地域の意見がきけて参考になった
- ・ 日頃から地域の人との交流が大事と痛感。しかし話が外に漏れる等プライバシーの配慮が必要。そのうえで地域での支え合いを望む。
- ・ 行政と市民が協働して自治会組織率を上げる。防災訓練を体系的に実施する。親睦を深める企画を立てて実施する。
- ・ 自分の地域でボランティアに参加できればよいので大変参考になった。
- ・ デイサービスのボランティアで清瀬に来ています。清瀬でお役に立つのは難しいと思いますが、何か参加できることがあればやらせていただきたい。

- ・昔からボランティア活動は好きなので実施。仕事を終えて身体を病んで療養中。今少し時間が必要。
- ・介護保険改正で要支援について自治体任せになるとのこと。そのためのボランティアあつめのフォーラムなのでしょうか。かなり疑問を感じる。認知症など素人のボランティアでは支援が不十分になるのでは。
- ・堀田先生の話が大変分かりやすかった。見えるかチャートが参考になった。
- ・一人暮らしの見守りは大切な課題。孤独死がなくなることを願います。
- ・とても良い企画。お互いつながることは大切。現在もいろいろ関わっているのでさらに新しいことに取り組むのは難しいが何が、できるか考えたい。
- ・会場の写真を撮る際は参加者に許可を得てからにしてほしい。実際の介護者や今日参加できない年齢の人たちももっと集まって支え合いにしていっていただきたい。
- ・有償・無償ボランティアは人柄とかどのような人たちが自宅に来てくれるのかについて心配がある。介護保険制度とは別のしすてむということに不安を持つ。
- ・すぐに支援は難しい。まずは声かけから始めていったらよいのでは。
- ・子どもに教えたり、支援したりして生きがいの場所にしたい。これからは支え合い、助け合いを具体的に つくるのが課題。